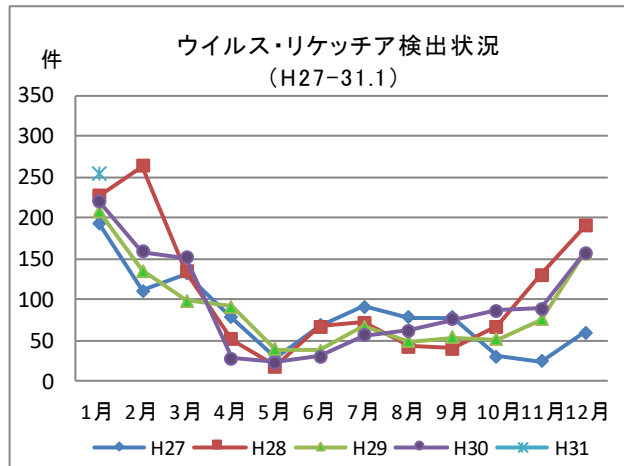
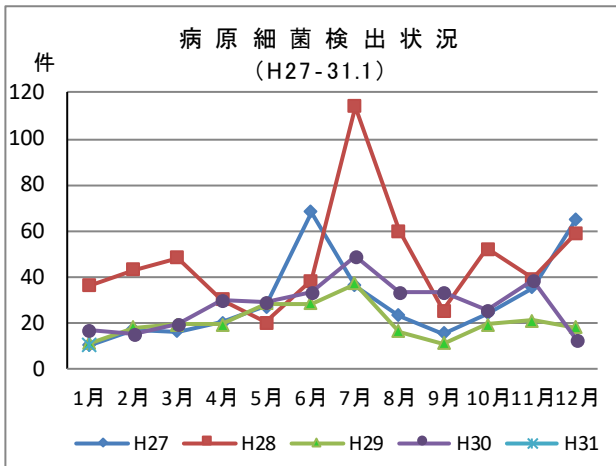


<検出状況>

1月の病原体検出数は合計 264 件、細菌は 10 件、ウイルス・リケッチアは 254 件であった。



- 病原体定点等の医療機関からの検査では、小児科定点から細菌が 1 件、ウイルスが 133 件、インフルエンザ定点から細菌が 5 件、ウイルスが 39 件、基幹定点からウイルスが 16 件検出された。
- 保健所管内別の病原体検出状況は表 1 のとおりである。

表2 病原細菌検出状況(臨床診断別)—平成 31 年 1 月

	感 染 症													（食 有 症 中 苦 情 含 む ） 様	（依 保 菌 類 者 検 査 ） 査	合 計	
	コ レ ラ	細 菌 性 赤 痢	腸 チ フ ス	パ ラ チ フ ス	腸 管 出 血 性 大 腸 菌 感 染 症	レ ジ オ ネ ラ 症	百 日 咳	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	マ イ コ ブ ラ ズ マ 肺 炎	細 菌 性 髄 膜 炎	ペ ニ シ リン 耐 性 肺 炎 球 菌 感 染 症	淋 菌 感 染 症				そ の 他
検 査 検 体 数		7			8	3		9	5						4	1729	1765
腸管出血性大腸菌(EHEC)					3												3
黄色ブドウ球菌									1								1
A群溶血レンサ球菌								6									6
計					3			6	1								10

- 腸管出血性大腸菌感染症届出関連に伴う検査で 8 検体(陰性確認 8 検体)中 3 検体から腸管出血性大腸菌 O157(VT2)が検出された。
- A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者 9 検体中 6 検体から A 群溶血レンサ球菌が検出された。血清型は、T4 が 1 検体、T6 が 1 検体、T12 が 2 検体、T25 が 1 検体、TB3264 が 1 検体であった。
- 感染性胃腸炎患者 5 検体中 1 検体から黄色ブドウ球菌(エンテロトキシンA遺伝子検出)が検出された。

表3 病原細菌検出状況(月別)—平成30年1月～平成31年1月

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成30年累計	1月	平成31年累計
腸管出血性大腸菌(EHEC)				1		5	33	13	6			2	60	3	3
毒素原性大腸菌(ETEC)				2 (2)									2 (2)		
腸管病原性大腸菌(EPEC)				3	2				5		1		11		
腸管凝集性大腸菌(EAggEC)				1 (1)								1	2 (1)		
その他の大腸菌 ※		1							1		1	1	4		
サルモネラ O4群	1	2	1	2	2			1					9		
サルモネラ O7群			1					2	1	2			6		
サルモネラ O8群					6						1		7		
サルモネラ O9群	1	1											2		
サルモネラ 群不明					1								1		
腸炎ビブリオ								4	3				7		
カンピロバクター ジェジュニ	5	2		10	2	5	1	4	7	6	7		49		
カンピロバクター コリ			1						1	1	1		4		
黄色ブドウ球菌	1	2		3				1			2	2	11	1	1
ウエルシュ菌								1			1	1	3		
セレウス菌											1		1		
赤痢菌 (<i>S.boydii</i>)										1			1		
A群溶血レンサ球菌	8	7	13	8	12	20	9	6	6	12	18	4	123	6	6
マイコプラズマ ニューモニエ					2	1	4		1		2	1	11		
レジオネラ ニューモフィラ			1		1			1	1	1	1		6		
淋菌							1						1		
クラミジア トラコマトリス	1		2		1	2	1		1	2	2		12		
合計	17	15	19	30 (3)	29	33	49	33	33	25	38	12	333 (3)	10	10

※:その他の大腸菌: EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC・EPEC・EAggEC以外の大腸菌(病原性不明なもの)

海外渡航者数は(内数)として記載

表4 ウイルス・リケッチア検出状況(臨床診断別)—平成31年1月

	感 染 症														食 中 毒 様 例 計	合 計	
	E 型 肝 炎	A 型 肝 炎	つ つ が 虫 病	デ ン グ 熱	急 性 脳 炎	風 し ん	麻 し ん	咽 頭 結 膜 熱	感 染 性 胃 腸 炎	手 足 口 病	ヘル パ ン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	イン フル エン ザ 様	流 行 性 角 結 膜 炎			無 菌 性 髄 膜 炎
検査検体数	1	3				40	18	4	10	2		235		2	1	4	320
インフルエンザ AH1pdm09												73					73
インフルエンザ AH3												135					135
インフルエンザ B												2					2
コクサッキー A16										2							2
A型肝炎		1															1
E型肝炎	1																1
麻疹							3										3
風疹						25											25
アデノ 2								1									1
アデノ 3								2									2
アデノ 5								1									1
アデノ(型未決定)									2								2
ノロ									4								2
計	1	1				25	3	4	6	2		210				2	254

- E型肝炎疑い患者1例(1検体)について検査を実施したところ、E型肝炎ウイルスが検出された。
- A型肝炎患者の陰性化確認を行ったところ、2例3検体中1検体からA型肝炎ウイルスが検出された。
- 麻しん疑い患者6例(18検体)、風しん疑い患者14例(40検体)について検査を実施したところ、患者1例(3検体)から麻疹ウイルスが、患者11例(25検体)から風疹ウイルスが検出された。
- 咽頭結膜熱患者4例からウイルスが検出された。その内訳は、アデノウイルス2型が1例、アデノウイルス3型が2例、アデノウイルス5型が1例であった。
- 感染性胃腸炎患者10例中6例から下痢症の原因となるウイルスが検出された。その内訳はアデノウイルス2例、ノロウイルス4例であった。
- 手足口病患者2例からコクサッキーウイルスA16型が検出された。
- インフルエンザ様患者227例中206例からインフルエンザウイルスが検出された。その内訳は、インフルエンザウイルスAH1pdm09が70例、インフルエンザウイルスAH3が134例、インフルエンザウイルスBが2例であった。
 集団かぜ事例2集団8例の検査を実施し、1集団3例からインフルエンザウイルスAH1pdm09が、1集団1例からインフルエンザウイルスAH3が検出された。
- 食中毒様事例(有症苦情含む)では、4検体中2検体からノロウイルスが検出された。

表 5 ウイルス・リケッチア検出状況(月別)—平成 30 年 1 月～平成 31 年 1 月

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成30年累計	1月	平成31年累計
インフルエンザ AH1pdm09	29	8	4			1				1	9	63	115	73	73
インフルエンザ AH3	48	57	56	13	5				3		4	33	219	135	135
インフルエンザ B	122	81	20	2					1	1			227	2	2
コクサッキー A2							1		3				4		
コクサッキー A4							12	8	1				21		
コクサッキー A5					1		7	4	2	1			15		
コクサッキー A6									3		1		4		
コクサッキー A9								2					2		
コクサッキー A10									4	1			5		
コクサッキー A16						2	2	2	8	3	5	5	27	2	2
コクサッキー B5										3			3		
エコー 3								3					3		
エコー 6								2					2		
エコー 30								3					3		
エンテロ A71	1			1	5	8	9	7					31		
A型肝炎			1		2	3	2	5	5	5 (1)	4	2	29 (1)	1	1
E型肝炎							2		2		1		5	1	1
ヒトパレコ 2								2					2		
ヒトパレコ 4										1			1		
ライノ			1	1			1			1	1		5		
ムンプス					1								1		
麻疹														3	3
風疹							3	11	37	65	33	24	173	25	25
アデノ 1								1	1		1		3		
アデノ 2		1	1	1	2	3	3	1	1			3	16	1	1
アデノ 3	2			1	3	9	11	6	4	1		1	38	2	2
アデノ 4						1							1		
アデノ 5			1		1	1	1				1		5	1	1
アデノ 41							1					3	4		
アデノ 54											2		2		
アデノ 85					1								1		
アデノ(型未決定)												1	1	2	2
単純ヘルペス 1		1			1	1							3		
E B	1							2					3		
サイトメガロ										1			1		
ヒトヘルペス 6	3		1	2						1			7		
ヒトヘルペス 7	1							1			1	2	5		
ロタ			4										4		
ノロ	14	10	60	6	2	2	1	1	1		20	17	134	6	6
サポ		1	1	1								1	4		
アストロ												1	1		
デング			2 (2)					1 (1)		2 (2)			5 (5)		
オリエンチア ツツガムシ											6	1	7		
合計	221	159	152(2)	28	24	31	56	62 (1)	76	87 (3)	89	157	1142(6)	254	254

海外渡航者数は(内数)として記載

表6 食品・環境由来の病原細菌検出状況—平成31年1月

	病原細菌検出数および検査検体数													
	食 品						環 境							
	1月			1月累計			1月				1月累計			
	食中毒等	収去検査	その他	食中毒等	収去検査	その他	海水*	浴槽水等	食中毒等	その他	海水*	浴槽水等	食中毒等	その他
検査検体数		90	3		90	3		26	6	6		26	6	6
腸管出血性大腸菌(EHEC)														
その他の大腸菌 ※2														
サルモネラ O4群														
サルモネラ O7群														
サルモネラ O8群														
サルモネラ O9群														
腸炎ビブリオ														
カンピロバクター ジェジュニ														
カンピロバクター コリ														
カンピロバクター ジェジュニ/コリ														
黄色ブドウ球菌														
セレウス菌														
レジオネラ属菌														
レジオネラ ニューモフィラ 1群														
レジオネラ ニューモフィラ 2群														
レジオネラ ニューモフィラ 3群														
レジオネラ ニューモフィラ 4群														
レジオネラ ニューモフィラ 5群														
レジオネラ ニューモフィラ 6群														
レジオネラ ニューモフィラ 7群														
レジオネラ ニューモフィラ 8群														
レジオネラ ニューモフィラ 9群														
レジオネラ ニューモフィラ 10群														
レジオネラ ニューモフィラ 11群														
レジオネラ ニューモフィラ 12群														
レジオネラ ニューモフィラ 13群														
レジオネラ ゴルマニイ														
レジオネラ ミクダデイ														
レジオネラ デュモフィー														
検出菌計														

※: 河川水を含む。

※2: EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC・EPEC・EA_{gg}EC以外の大腸菌(病原性不明なもの)
プール水、エアコンの水等は、環境の「その他」に計上。